

ミレーの絵は、中学生のとき「落穂拾い」が印象に深く、私にとっては絵の代表のように記憶している。山梨県立美術館は、ミレーの常設館としても知られている美術館で「ミレーの絵」を見に、一度来たことがあった。

りんごやなしの果樹農業をしている友人が、ミレーが好きで、2014.7.19~8.31 生誕200年ミレー展には是非とも山梨県立美術館に見に行くつもりでしたが、仕事一杯で行けそうもないと私に漏らしたのが30日でした。

あまりにも残念そうでしたので、私も興味がありま



したので、代わりなんかありえないが一応代わりと言って行くことしました。

次の日の31日、清水高原を出発して、約1時間半くらいで美術館に到着しました。11時頃でしたが駐車場は一杯で2台程待つて何とか停める事が出来ました。会場は団体の客も多くかなり混み合っの観賞になりましたが、思ったより作品の数が多く、ミレーの全体像が見えたような気がしました。

観賞後。売店で「今回の展示全作品集」を1冊買って友達に渡しました。友達は仙台でもこの後やる



から見に行きたいと言っていました。これから年末にかけて府中市そして仙台市と廻るようです。

長野県には、美術館が多く、特に小さな美術館があちこちにある観光地・別荘地が多い。清水高原から1時間以内のところは、穂高の有明あたりと1時間をちょっと超えると原村から小淵沢あたりと言ったように。

私にとっては、やはり特別展が開催される美術館が魅力になるが、県展・中信美術展と言った身近な人の作品も見たい時もある、最近では、松本市美術館(草間やよい展)・上田市美術館(県展・新装なった上田アリオの隣)・豊科近代美術館・長野県信濃美術館・水野美術館が私が訪れた美術館でした。

ジャン＝フランソワ・ミレー

1814年10月3日 生まれ

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijuki/saijukihome.htm>

